

令和3年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

主要渋滞箇所における対策進捗状況

令和4年2月22日(火)

1. 主要渋滞箇所における対策進捗状況について

○対策実施中箇所の内、大江二丁目や高宮町、西横関、築瀬・築瀬北、大江四丁目の各交差点について、引き続き施工に向けた調整を実施中。

なお、逢坂一丁目について、関係者と協議の結果、道路構造令を踏まえた走行軌跡を確認したところ、最小曲線長が規格値を満たしておらず、対策実施が困難であるため、今後対策を再検討する。

○滋賀県内の主要渋滞箇所について、対策進捗状況や速度状況、道路構造等を踏まえ、対策検討箇所を選定し、国道1号 野路町交差点の対策(案)を検討した。

■対策実施中箇所

交差点名	主な渋滞要因・課題	対策	現状
大江二丁目	・歩行者等の横断に伴う左折車両待機	・左折レーンの設置	・調査設計を実施
高宮町	・路面標示の経年劣化、片側歩道(国道8号)	・路面標示の見直し	・用地買収、調査設計を実施
西横関	・右折待ち車両による後続直進車両の阻害(国道477号北・国道8号東)	・国道8号における右折レーンを延伸、国道477号における右折レーンを設置	・用地買収、調査設計を実施
築瀬・築瀬北	・交差点間における車両の輻輳	・交差点間の右折レーン延伸	・用地買収、工事を並行して実施
大江四丁目	・東側流入部における、右折車両の待機	・右折レーンの延伸	・用地買収、調査設計を実施
逢坂一丁目	・交通容量超過	・停止線の前出し	・対策の再検討

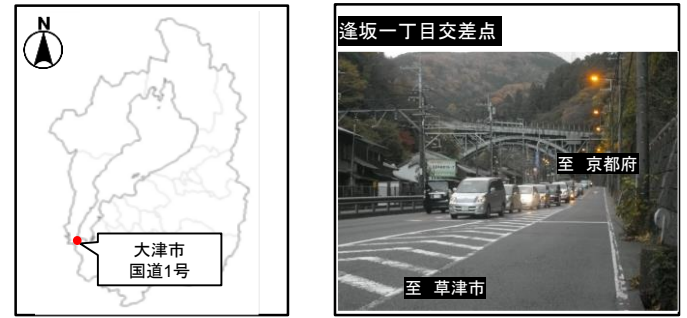
■今回対策検討した箇所

交差点名	主な渋滞要因・課題	対策(案)の検討	
		短期対策	中長期対策
野路町	・国道1号南行き右折滞留による直進阻害	【野路町】 ・停止線の前出し ・右折導流線の整備	【矢倉南】 ・停止線の前出し ・横断歩道の移設

2. 対策実施案の検証結果 (大津市 逢坂一丁目交差点)

- 平日昼間12時間の平均旅行速度が、最も低い方向で20km/h以下のため主要渋滞箇所を選定。
- 逢坂一丁目交差点では、交通集中及び流入1の交通容量超過により慢性的な渋滞が発生している。
- 流入3における停止線の前出しによって、交差点のコンパクト化をはかり、交差点全体の渋滞緩和へ繋げる。

位置図



広域図

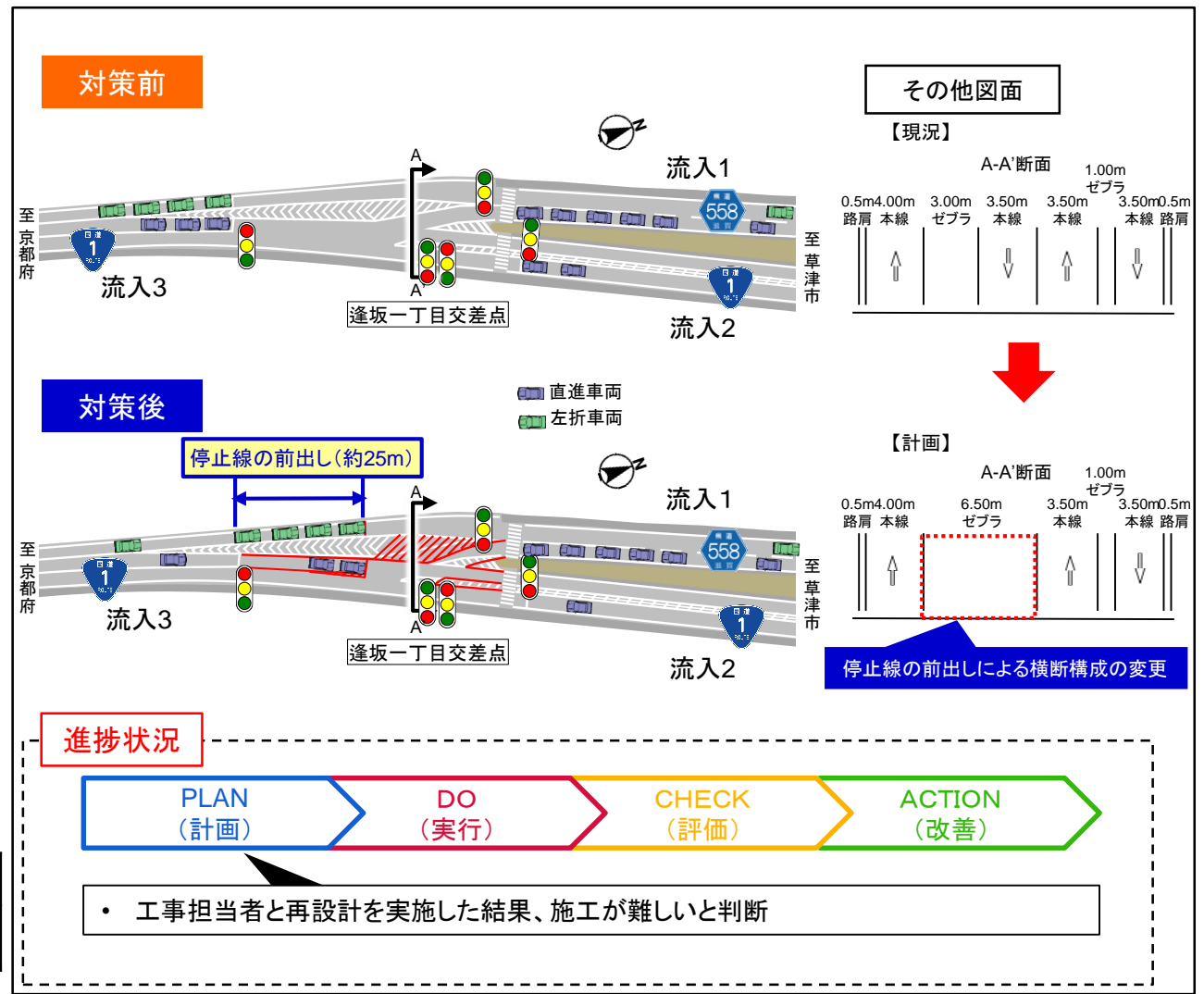


主要渋滞箇所の選定理由

選定要因
 各府県別交差点渋滞損失時間ワースト50位以内、かつ最も低い方向※で平日昼間12時間の平均旅行速度20km/h以下

※国道1号草津方面行き

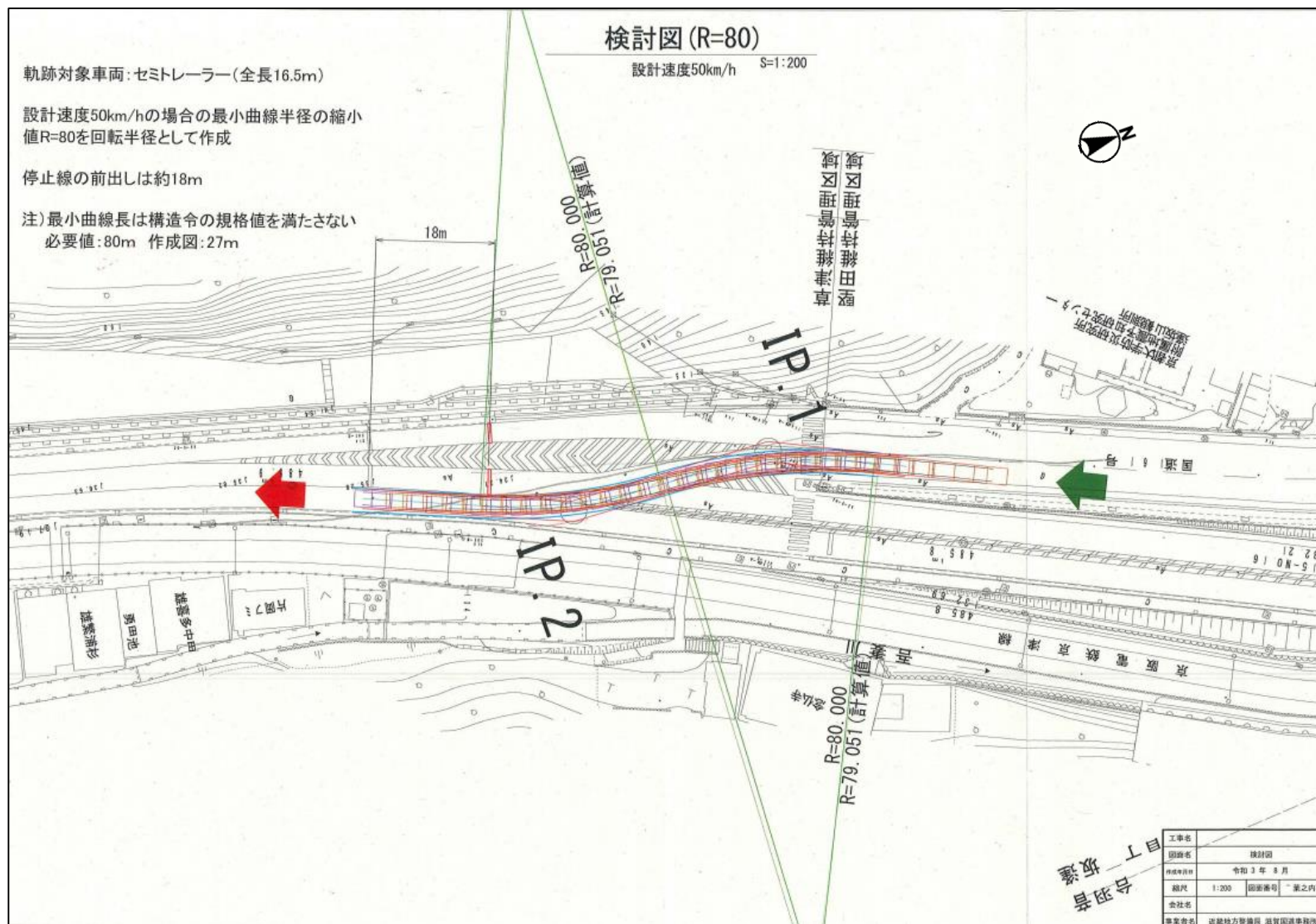
説明図



2. 対策実施案の検証結果（大津市 逢坂一丁目交差点）

- 道路構造令を踏まえ、設計速度50km/h(=規制速度)・曲線半径80mで走行軌跡を確認すると、セミトレーラー(長さ16.5m)で最小曲線長の規格値を満たしていないことを確認した。
- 本交差点については、今後対策の再検討を行う。

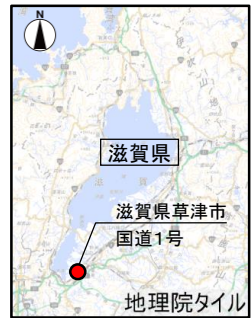
《大型車両の走行軌跡の確認》



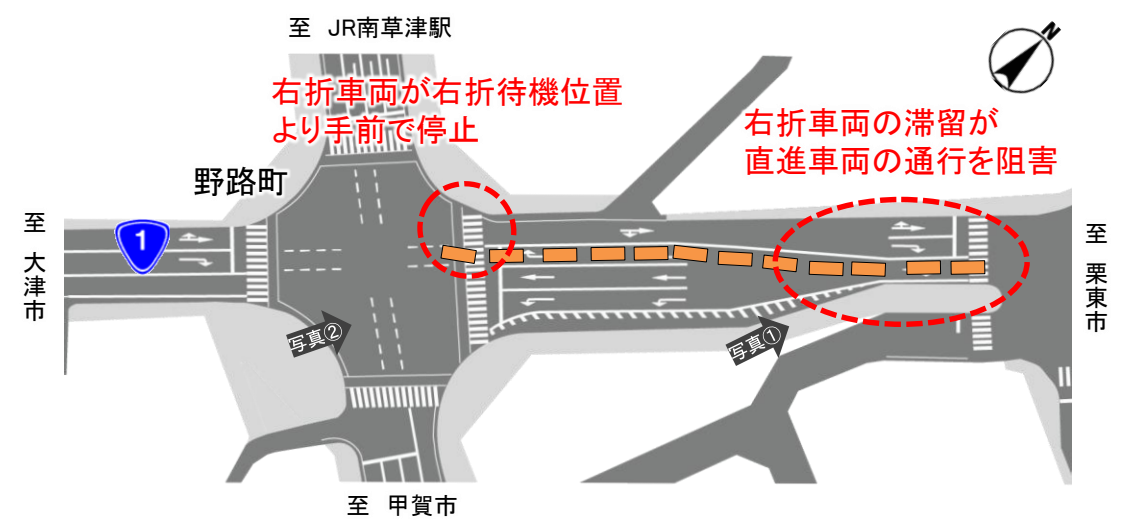
3. 令和4年度対策検討箇所（草津市 野路町交差点）

○野路町交差点では、ピーク時に交通が集中し、右折待機車両の滞留が直進車両の後続阻害となり、渋滞が発生。
 ○また、交差点内で待機する右折車両が右折待機位置より手前で停止しているため、右折車線の滞留長が伸びやすくなっている。

《位置図》



《渋滞発生状況》



《広域図》



出典：国土地理地図

《主要渋滞箇所の選定理由》

選定要因
各府県別交差点渋滞損失時間ワースト50位以内、かつ最も低い方向※で平日昼間12時間の平均旅行速度20km/h以下



3. 令和4年度対策検討箇所（草津市 野路町交差点）

- 短期対策として、野路町交差点の自転車横断帯を撤去し、横断歩道、停止線の前出しにより右折滞留長を確保する。
- また、交差点内に右折導流線を整備し、右折待機車両に適切な位置での停止を促すことで、滞留車列による直進車両の阻害を抑制する。
- 野路町交差点の北側に位置する矢倉南交差点では、北向きの停止位置の前出しすることで、野路町交差点の南向きの右折滞留長を確保する。
- また、従道路側の停止線位置の前出し、横断歩道の移設も併せて実施し、国道1号の歩行者の流れを簡略化する。

《中長期対策①：車線絞り込みの位置の変更》

